

Header information table including project name (雲南市教育支援センター運営事業), department (教育委員会), and various administrative details like policy name and budget items.

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

Project overview table with sections for ① 事業期間 (Project Period) and ② 事業内容 (Project Content), detailing the non-school children's learning environment.

(2) 事務事業の手段・指標

Means and indicators table with sections for ① 主な活動 (Main Activities) and ② 活動指標 (Activity Indicators), including a table for activity counts from 2016 to 2019.

(3) 事務事業の目的・指標

Purpose and indicators table with sections for ① 対象 (誰、何を対象にしているのか) and ② 意図 (対象がどのような状態になるのか), including a table for target indicators from 2016 to 2019.

(4) 事務事業のコスト

Cost table with sections for ① 事業費の内訳 (28年度決算) and ② コストの推移, including a table for cost trends from 2016 to 2019.

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

Environment change and resident opinions table with three columns: ① 環境変化 (Environment Change), ② 改革改善の経緯 (Reform/Improvement Process), and ③ 関係者からの意見・要望 (Opinions/Requests from Stakeholders).

事務事業名	雲南市教育支援センター運営事業 (NPO法人との協働による不登校対策支援)	所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育推進室
-------	--	-----	-------	-----	-----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	個々の状態も大きく違うなかではあるが、非常に高い現状値であるためこれ以上の向上余地はない。
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	不登校の児童生徒の支援(通級指導)を行う市内唯一の公的施設であるため。
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	他に類似の事務事業はない。
⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	事業費の大部分が委託料や施設の維持管理経費であり、現状は削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	センターのあり方の明確化を図ることが必要であるが、受託者である認定NPOとの役割分担等を含めて、削減余地は考えられる。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	すべての子どもたちの支援を図る施設であり、公平・公正である。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地		
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地		
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	あらたな体制での取り組みがスタートして2年目であり、まだまだ模索をしながらの展開であったが、学校、家庭、関係機関との連携を密に図りながら、適切な事業実施を図ることができた。 H28年度は、臨床心理士の配置や高校生年代に対応するためのフレンドクラスを開設した。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>学校との役割分担を含めて、センターとしてのあり方の明確化を図る。 その上で、人員体制や関係者の役割分担などを示し、より効率的な施設運営を図る。 利用者の増加や家から一歩が踏み出せない児童生徒への対応を図るため、退職校長会などへの協力依頼を含めて、ICT等による遠隔授業や家庭などへの出張型による支援体制の構築も検討。</p>																								